

## ごみかんよりお知らせ

新型コロナで、ごみが大変なことになっています。冬から春へ、年度替わりの時期にごみ量が増えるのは、例年のことなのですが、今年は新型コロナの影響が加わって、関係者に聞くと、ごみも資源も2割前後は増えた実感なのだそうです。

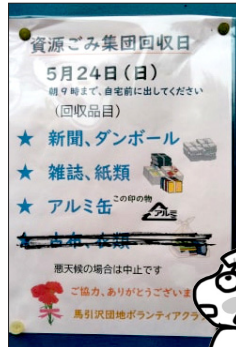
市民生活の中では、夕方になってみただけ収集車が来ないというだけではなく、例えば、地域の資源集団回収では、今まで出せていた古布が、もう業者さんが引き取れないので、自宅に置いておくしかない、いやなら可燃ごみにする、という最悪の状況になっています。

資源リサイクル事業者に現場の状況を伺いました。

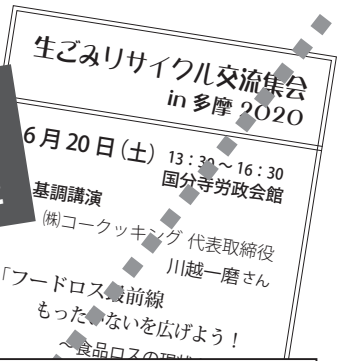
「古紙や古布は、コロナ以前から流れが滞っていましたが、都知事が、『ステイホームでお片付けしましょう！』なんて言うものだから、資源ごみ全般がとんでもないことになっていますよ」と。

コロナ禍で、あらゆるものが輸入も輸出もストップしていますが、以前から港のコンテナに山積みになっていた古布の行き場が絶たれてしまい、「いまは、タンスにあったものはタンスに入れておいてほしいんですよ」と前段の事業者さんは言います。

また、リサイクル現場は障がい者の働く場にもなっているので、「感染不安で彼らが仕事に出られず、人手も足りないで夜遅くまで少ない人数で処理している」状況だそうです。「可燃ごみはただ燃やせばいいけれど、資源ごみは収集後に機械や手で選別作業が



残念ですが…中止になりました



年に1度の「生ごみリサイクル交流集会」の開催を楽しみにして下さっていた方も多かったのですが、実行委員会では非常事態宣言が5月末まで延長された時点で、やむなく中止と判断しました。  
なお、交流集会で事例発表を予定していた多摩市からは、7月発行の次号に「がんばる自治体」の寄稿をお願いしました。

あるのもうお手上げです」という言葉がとても重かったです。

衣料については、まずフランスのように法律で在庫や売れ残り品の廃棄を禁止した上で、リユースやリサイクルを義務付け、古着市場を拡大して国内循環でリユースを推進していきたいものです。そして生産段階でも、再生原料の利用を進めていくべきでしょう。

ポスト・コロナ社会では、そのような循環経済を目指していきたいですね。

### \*このついでに\*

東京に緊急事態宣言が発令された4月上旬、豊島区巣鴨の駅前で一人暮らしをする母親が転倒して救急搬送され、骨折はなかったものの、ひどい打撲による痛みで起き上がれなくなり、自宅での介護が必要になりました。  
そこで、新宿区に住む妹、品川区に住む弟、小金井市に住む私の3人でシフトを組んで母の家に通う日々がひと月半ほど続いています。  
母は昭和ひと桁生まれなのに新しいものの好きの浪費家で、ごみを減らそうなんてチラとも思っていない。豊島区はごみの分別などない。資源ごみって何？ 燃えるごみはいつ出すか知ってるけれど、ごみカレンダーなんて見たことがない」と言い切つたものです。  
どうやら、ペットボトル・缶・びんは隣のサンドイッチ屋さんが引き取ってくれるそうだけれど、あとは生ごみもプラスチックも紙類もすべて「燃やすごみ」用の大きなポリ袋に突っ込んでいたようです。そりゃないよなあ。  
さっそく豊島区HPからごみカレンダーをダウンロードして「燃やすごみの中から「資源ごみ」を救出することにしました。  
やっかいなのはプラスチックでした。豊島区が容器包装プラとしているのは「発泡スチロールのトレイとシャンプーやドレッシングなどのボトル」だけなのです。惣菜などが入る透明なプラスチックの容器など、かなり多くのプラスチックが燃やすごみです。そして、妹の住む新宿区と品川区はプラマークのついたすべての容器包装プラを資源回収。そして私が暮らす小金井市は、容器包装だけでなくポリバケツなど商品プラをも含めたプラスチックを、資源として回収しています。  
妹と弟は、母の家ではポリ袋や透明トレイ、量の少ない紙ごみを燃やすごみの袋に入れるけれど、私はどうにもそれが許せず、取り出して集め、持ち帰っています。コロナ禍の下では取るに足りない困りごとですが、ごみかん会員さんならわかっただけでもらえるかな…

## ごみ・環境ビジョン21



年会費 = 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円  
賛助会員 10,000円 (一口)

郵便振替 □座名: ごみ・環境ビジョン 21  
□座番号: 00130-1-603521

### ◆ごみと・SUNのお受け取り方法は

- ①ヤマト運輸のDM便
- ②メール添付でのPDF配信 の二つがあります。  
②をご希望の方はメールにてお申し込みください。

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号 (FAX) をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので戻ってきてしまいます。

◆記事を転載する場合はご連絡ください。